ぱーとなー

２００５年１０月
第４７号

耳原総合病院の理念

耳原総合病院はこんな医療をめざしています

◎　**安全･安心･信頼の医療**
私たちは患者様とともに力を合わせて医療をすすめます

◎　**無差別平等の医療**
私たちは人権を尊重した医療をすすめます

◎　**患者負担の少ない医療**
私たちは室料差額はいただきません

◎　**地域とともに歩む専門職の育成**
人権感覚をもつ専門職を養成します

ITの活用で理想のケアめざして着実に前進

耳原総合病院では電子カルテと連動したクリティカルパスシステムを採用実践しています。

クリティカルパスとは、入院などの際の医療ケアを計画表にまとめ、治療に要する日数や検査内容などを明示し、患者様に治療内容の経過を解りやすく解説したものです。パスは、病気ごとの最も効果的な治療計画表なのです。また、異常の早期発見、医療過誤の減少といった安全性の向上にもパスは極めて有効です。

電子カルテと連動しているクリティカルパスは全国的にもまだ実現が少ない現状ですが、当院ではより最先端の考えと技術を取り入れ、また院内で定期的に行われるパス大会やパス委員会という会議で、医療の品質に関して分析し、改善を繰り返すことで、耳原総合病院としての理想的なケアを目指し、日々活動しています。

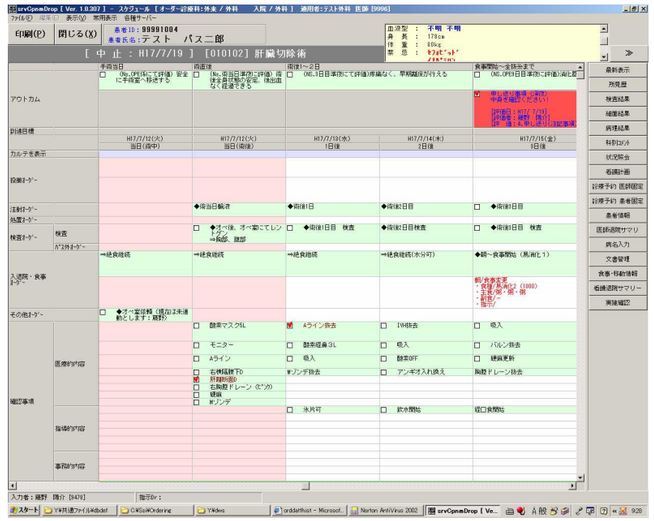
クリティカルパス委員会は、2004 年 10 月に発足したばかりで、まだ生まれて間がありません。

そもそもクリティカルパスは、1950 年代にアメリカで使われていた工程管理の手法です。行程を縦軸に。時間を横軸にとり、いつ製造を始めると、製品が上がってくるのがいつになるかがわかるというもので、これを医療用に変えたものがクリティカルパスです。縦軸はケア内容になります。つまり、患者様の入院から、いつどのような検査を受けて、いつ手術をして何日で退院するのかが、書き込まれることになります。

クリティカルパスは、医療の質の向上につながらなければ、意味がありません。パス委員会は、耳原総合病院が目指す安全・安心・信頼の医療を提供するために活動しています。当院のクリティカルパスのすごさは、IT 化されて電子カルテと連動していることです。パスがカルテを内包していますから、パス画面でカルテと同じ仕事ができるのです。パス画面で注射をチェックすると、会計処理までできます。限られた画面の中で、必要な情報表示と様々な情報の取得と操作が簡単に行えるよう工夫されています。

すでに、日帰り手術センターでは 5 月から入院患者様全てがクリティカルパスにより運用されています。今後、さらにパスの対象が増えていきます。そして、見直し、改善のサイクルを繰り返して、さらに安全・安心・信頼の医療を提供していきます。

クリティカルパス導入のメリット
・入院日数の短縮化
・患者様が中心となる医療の実現
・患者様と医療スタッフとで共通の認識が持てる
・耳原総合病院標準の医療品質が保証される
・チーム医療実践による医療の質の向上
・患者様と職員とのコミュニケーションの向上



クリティカルパス画面

_/_/_/_/_/_/_/　　**耳原総合病院地域医療室**　　_/_/_/_/_/_/_/
_/_/_/_/_/_/_/　電　話　０７２－２４１－０３２４　_/_/_/_/_/_/_/
_/_/_/_/_/_/_/　Ｆａｘ ①０７２－２４１－０２０８　_/_/_/_/_/_/_/
_/_/_/_/_/_/_/　Ｆａｘ ②０７２－２４１－０６７０　_/_/_/_/_/_/

受付時間　月・水・金　午前９：00～午後７：00
火・木　　午前９：00～午後５：00
土　　午前９：00～午後１：00

☆★☆お電話で患者さまのご都合に合わせ予約いただけます。
折り返しＦＡＸにて予約票をお送りします。☆★☆
☆★☆事前にカルテを準備してお待ちします。
カルテ作成に必要な情報をＦＡＸして下さい。☆★☆
☆★☆予約当日、患者さまが受診の際
① 保険証②診療情報提供書③上記予約票をご持参下さい。☆★☆